

蕨

広報WARABI

7

2025/令和7年

わらび・901

- 令和7年7月1日発行／発行所・蕨市役所
- 6月1日現在人口：76,872人 前月比 +83人
世帯数：42,583 人口密度：15,043人/km²
- 蕨市の面積 5.11km²

～今月の特集～



- 立ち直りを支える保護司……………2
- 検証 市長マニフェスト……………4
- 校内教育支援センター開室……………6



きれいで楽しいしゃぼん玉

たんぽぽ保育園の外遊び時間のひとこま。ふわふわと浮かぶしゃぼん玉に、園児たちの笑顔がはじけていました。



7月は「社会を明るくする運動」強調月間

地域で立ち直りを支える保護司

犯罪や非行をした人たちの出所後の生活に寄り添い、更生を支える保護司の活動をご存じですか。7月は犯罪のない明るい地域社会を目指す「社会を明るくする運動」強調月間です。ここ2、3分では、保護司による更生保護の取り組みについて紹介します。



犯 罪や非行をした人が再び過ちを犯さないためには、その人自身が自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直りのために努力することに加え、そうした人を受け入れる地域の力が欠かせません。「更生保護」は立ち直ろうとする人に寄り添い、支えることで、更生と自立を促し、犯罪や非行のない、安全で安心な地域社会を作る活動です。保護観察期間中の面接などを通じて、社会復帰をいちばん近くで見守る保護司をはじめ、さまざまな立場の人たちが関わり、仕事、住居、福祉など、

地域に根差した幅広い支援を行っていきます（左上図）。

また、更生には地域の温かい目も必要です。安全で安心な明るい社会を実現するため、全ての人に更生保護への理解と支援の輪を広げる取り組みが、「社会を明るくする運動」です。左図では、その中心的な役割を担う保護司の皆さんの活動を紹介します。毎年7月は「社会を明るくする運動」強調月間。この機会に、更生保護と安全安心なまちづくりについて考えてみませんか。

問い合わせ先 福祉総務課
（☎433・7753）



更生保護サポートセンター（詳細左図）で打ち合わせをする保護司の皆さん

保護司ってどんなお仕事？

保護司とは法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員で、その活動はボランティアです。「蕨・戸田地区保護司会」は蕨支部21人、戸田支部27人で構成されていて、犯罪や非行をした人の社会復帰や犯罪予防のため、保護観察官や地域の関係機関等とも連携して、次のような活動を行っています。

保護観察

保護司の中心的な活動で、月に2回程度、対象者と面接を行います。再犯防止のための約束事を守るよう指導するほか、生活上の助言や就労支援を行い、その立ち直りを助けます。

生活環境調整

少年院や刑務所に収容されている人が、釈放後に支障なく社会復帰を果たせるように、釈放後の住まいや身元引受人、就労先などについて、必要な受け入れ体制を整える活動です。

犯罪予防活動

更生保護への理解を社会に広げ、犯罪や非行を未然に防ぐための活動です。蕨支部では毎年「社会を明るくする運動」推進大会を実施し、講演会を開催しています。



昨年7月に実施された第74回「社会を明るくする運動」推進大会の様子

蕨・戸田地区更生保護サポートセンター

地域の関係機関・団体と連携しながら、更生保護活動を行うための拠点で、保護司会の皆さんが輪番で運営しています。保護観察の面接や保護司同士の打ち合わせ、ミニ研修などに使われるほか、部屋の空き状況により、地域団体等が利用することもできます。

ところ	戸田市大字上戸田5-6 (戸田市福祉保健センター内)
開所日時	毎週月・水・金曜日 午前10時から午後2時まで ※祝日、年末年始、戸田市福祉保健センターの休館日は休業
電話	048-229-8902

Interview



蕨・戸田地区保護司会蕨支部長
眞下 賢さん

20年ほど前に当時の蕨・戸田地区会長に声を掛けてもらったのを機に保護司となり、地域に貢献したいとの思いから長く活動を続けてきました。保護観察を受ける人の多くは自らの過ちを反省し、立ち直ろうと一生懸命です。そうした姿を見守り、支え、社会復帰を後押しすることが私たちの役割であり、やりがいです。

近年、非行や犯罪の件数は減少傾向にある一方、再犯率は高止まりです。家族や友人、職場などの縁が切れることで、出所後に孤立を深め、再犯してしまう悲しい事例も見てきました。安全安心なまちの実現に向けて、再犯防止は大きな課題であり、そのためには、地域ぐるみで犯罪や非行をした人の孤立を防ぐことが重要です。「社会を明るくする運動」の趣旨のとおり、まずは理解を広げるため、蕨支部では毎年、講演会を企画しています。今年10月23日に、『めざせ！ムシヨラン三星』などの著作がある刑務所栄養士の黒柳桂子さんの講演を予定(※)。多くの人にこの理解を深めるきっかけにしたいです。

市民の暮らしを守り、蕨の更なる飛躍へ

「あつたか市政」着実に前進

頼高英雄市長が5期目をスタートさせてから2年が経過し、この間、市民の皆さんとお約束した新たなマニフェストは、着実に進められています。ここでは、その進捗状況についてお伝えします。



市民の皆さんと意見交換する頼高市長

実施済みと着手合わせて
マニフェスト達成率84%

5期目のマニフェストは、全50項目（左頁参照）あります。この1年間で、街なか防犯カメラの増設や地球温暖化対策設備等設置費補助金の対象拡充、「蕨市SDGsパートナー制度」の創設などを進め、「実施済み」は27項目に。また、小・中学校のトイレ洋式化とICT環境の整備、災害用のテント型集合トイレをはじめとした防災用備品の充実、中山道のにぎわい交流拠点整備に向けた計画の策定など、

マニフェスト実施状況(50項目)

実施済み 54% ※一部実施・着手を合わせた達成率は、84%

- ◎：実施済み 27項目
- ：一部実施・着手 15項目
- △：検討中 8項目
- ★：変更 0項目

「一部実施・着手」が15項目となり、合わせて84%の項目で取り組みが進んでいます。今後も市民の皆さんと心を合わせながら、選ばれる・成長するまち蕨の実現に向けて、着実に前進していきます。

にぎわい交流拠点



現在駐車場となっている市仮設庁舎跡地ににぎわい交流拠点を整備

子どもが喜ぶ施設に期待

子どもを連れ、児童館などのほか商業施設にもよく出かけるので、駅前再開発に続き、中山道に飲食施設や広場が出来るのは楽しみです。イベントが多いのが蕨の魅力の1つなので、新施設でも親子で楽しめる企画があると嬉しいです。



かわの あすか 河野 明日香さん 中央1丁目

プランターファーム



プランター・ファームinわらび推進のためプランターキットを配布

自宅で農業体験を楽しむ

昨年・今年と、市が配布したプランターキットで野菜を「育てる」、「収穫する」、「食べる」体験を楽しんでいます。植物を育てて写真を記録するフォトコンテストはよい環境教育になると思うので、子どもたちにもぜひ勧めたいですね。



かいぬま まさとし 貝沼 知さん 錦町5丁目

1. みんなが自分らしく、健康で幸せに暮らせるまち蕨へ

3月に地域福祉計画及び再犯防止推進計画を策定したほか、市立病院の移転建替えに向けて、基本構想・基本計画を策定し、設計に着手するなど、着実に取り組みを進めています。

- 市立病院の早期建替えで、安心の医療体制整備
- ◎ 健康まちづくり（スマートウエルネスシティ）の推進
- △ 蕨らしい地域包括ケアシステムを構築
- ◎ 带状疱疹ワクチンへの助成
- ◎ 高齢者の補聴器購入費への補助
- ◎ 県内で最も充実した敬老祝い金の継続
- 障害のある方の生活支援や就労支援など包括的支援体制を整備
- 障害者入所施設の市内や近隣市での設置をめざし、社会福祉法人や近隣市と連携
- ◎ 精神障害のある方へのタクシー券助成
- ◎ ヤングケアラー支援条例の制定
- ◎ 養育費保証支援制度の創設などひとり親家庭への支援拡充
- ◎ 地域福祉計画と再犯防止推進計画の策定
- ◎ ジェンダー平等を推進、多様性を尊重し、パートナーシップ制度を早期に導入

2. だれもが安全で安心して暮らせるまち蕨へ

特別養護老人ホームや和樂備神社と防災協定を締結するなど防災対策を充実したほか、街なか防犯カメラを60基増設し、計200台としました。

- 災害用トイレの整備や水道の更なる耐震化、大規模水害対策の強化
- ◎ 自主防災組織への支援と民間企業・団体との更なる防災協定の締結
- ◎ 街なか防犯カメラ増設と防犯カメラ設置費補助
- ◎ 交通安全対策や振り込め詐欺被害防止のいっそうの推進
- ◎ 犯罪被害者支援条例の制定と見舞金拡充

3. 子ども達がいきいきと育つ、子育てしたいまち蕨へ

今年度から3歳6か月児健診でセカンドブックを配布。また、スクールカウンセラーを増員するとともに、全市立中学校に校内教育支援センターを整備し、不登校対策を充実させました。

- △ 蕨駅前に、便利で魅力的な図書館を整備（若者コーナー、カフェ、夜間開館等）
- 給食費の完全無償化を国とともに推進 市独自に2人目以降給食費無償化を早急に実施
- ◎ 県南初の18歳までの子ども医療費完全無料化
- 子どもの居場所づくりとボール遊びや自然とふれあえる公園の整備
- 全学校トイレの洋式化とICT環境のいっそうの整備
- ◎ 子ども達が絵本にふれあえる「セカンドブック」事業の実施と読書通帳作成
- ◎ スクールカウンセラーの増員や学習室の拡充など、不登校の子ども達への支援充実
- △ 発達障害の子や医療的ケア児と家族への支援拡充
- ◎ 産後ケアや一時保育、親子の居場所づくりの充実

物価高騰から市民の暮らしを守る緊急対策（第9弾）

- ◎ 織りなすクーポン第2弾の実施、など（令和5年度に実施済み）

4. 楽しく、活気のあるまち蕨へ

昨年6月から全公民館で学習用Wi-Fiの運用を開始。また、にぎわい交流拠点整備事業については埼玉版スーパー・シティプロジェクトも活用しつつ、3月に基本計画を策定しました。

- 蕨の未来への飛躍の核となる蕨駅西口再開発の推進・完成
- 中山道に「にぎわい交流拠点」を整備
- △ 駅前通りを「にぎわい交流軸」として整備
- ◎ 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参加
- 街なかの商店で、楽しくお買い物ができるまち（サブリースなど空き店舗活用の推進、創業講座や事業承継への支援）
- △ 中央プールを室内プールに改修、学校とも連携
- 富士見野球場・塚越グラウンド整備、グラウンドゴルフの場の確保など生涯スポーツの更なる推進
- 音楽のまちづくりや生涯学習の更なる推進と充実 公民館等へのWi-Fi設置
- △ 現図書館を文化芸術の拠点として活用を検討

5. 住み心地の良い、日本一のエコシティ蕨へ

プランター・ファームinわらびの推進を本格化し、昨年11月、フォトコンテストを実施。また、今年度から地球温暖化対策設備等設置費補助金を更に拡充し、宅配ボックスを対象としました。

- ◎ ゼロ・カーボンシティを宣言
- ◎ 太陽光発電の補助拡充など省エネ・再エネ加速化
- ◎ プランター・ファームinわらびの推進
- ◎ 民間事業者と連携し、シェアサイクルを実施
- ◎ 片品村などとカーボンオフセットを推進
- 錦町土地区画整理事業の更なる推進
- ◎ マンション管理適正化計画の推進と相談支援体制拡充

6. みんなで創る未来に飛躍するまち蕨へ

市とともにSDGsの達成に向けて取り組む事業者を認定する、SDGsパートナー制度を5月に創設しました。

- △ 蕨駅前に行政センターとパスポートセンター整備
- 行政と民間企業・団体との連携（公民連携）推進
- ◎ わらびSDGsパートナー制度の創設やSDGs提案制度の創設
- ◎ おくやみ窓口設置や外国人の総合相談窓口の設置
- △ 東公民館の行政センター機能強化、塚越ビジョン策定
- 自治体DXの推進で、便利で効率的な市役所へ

赤字の「◎」「○」は前年から取り組みが進んだ項目

防犯カメラの充実



街なか防犯カメラの増設と合わせ家庭用防犯カメラの設置費を補助

防犯カメラで安心感向上

補助制度を知り、昨年、自宅兼店舗に防犯カメラを設置。安心感がありますね。自宅だけでなく前の道路も撮影されるので、充実した街なか防犯カメラと併せて、うちのカメラもご近所の安心につながったらいいなと思っています。



なかた 洋子 さん
塚越1丁目

DXルームの整備



高性能パソコン、電子黒板、3Dプリンター等がそろったDXルーム

新しい教室で新たな挑戦

第二中学校では昨年秋にDXルームが開設され、グループワークや発表などの授業に活用されています。動画撮影や編集など、教室でできることが増えたので、それぞれが得意なことを教え合って、使いこなせるようになりたいです。



いしやま 連 さん
第二中学校3年

戦後80年・

蕨市平和都市宣言40周年記念行事

平和コンサート

ぞうれっしゃがやってきた

戦後80年・蕨市平和都市宣言40周年を記念し、8月2日に記念行事を開催します。終戦からまもなく80年。戦争を知る世代は少なくなりましたが、戦争の悲劇を風化させてはいけません。皆さんも記念行事に参加して、平和の尊さについて考えてみませんか？



プログラム

【第1部】／記念式典

【第2部】／平和コンサート

合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」

合唱＝川口ぞうれっしゃ合唱団

指揮＝酒井 敦さん(蕨市出身・東京藝術大学音楽学部指揮科教授)

ピアノ＝遠藤 理史さん(蕨市出身・東京音楽大学卒業・ピアニスト)

日時＝8月2日(土) 午後2時

場所＝市民会館

定員＝200人 費用＝無料

※全員にエコバッグのプレゼントあり。

申し込み＝13日までに下記二次元コードの入力フォームまたは折り込みちらしのはがきを投函(はがきは8月11日まで、消印有効)

詳細＝庶務課(☎433・7705)



川口ぞうれっしゃ合唱団

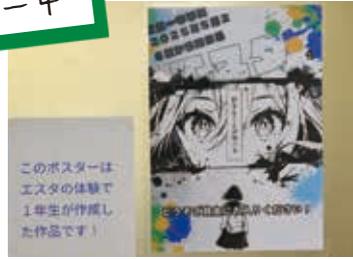


「いのちと平和と子どもたち」ぞうれっしゃ2023公演の様子

戦時中から戦後にかけての実話を基に作られた絵本から生まれた合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」に魅せられたメンバーが、平成2年に結成した合唱団。年齢層は3歳から90歳代までと幅広く、参加の仕方ともさまざまですが、曲の中の歌詞「ここに来ればあえるね」の気持ちをたいせつにしながら活動中。今回の平和コンサートに向け、蕨市出身の指揮者・ピアニストを中心に、熱のこもった練習を重ねています。

※その他、歴史民俗資料館や各公民館で実施する平和の催しについては、お知らせ版7頁を御覧ください。

一中



教室の入り口にはエスタの体験で生徒が作ったポスターを掲示。さまざまな活動を通して学習へとつなげています



「学ぶことの楽しさを生徒たちに知ってほしいです」と若林先生(左)と飯川支援員(右)

二中



学校には珍しい丸いテーブルを使用。また、パーティションで区切るなどして居心地のよい空間を創出しています



「個性を尊重した教室作りで生徒をサポートしていきます」と神田先生(左)と小松支援員(右)

東中



校内における教室の配置を工夫。他の生徒の目を気にせずに入退室ができるよう、昇降口の近くに設置しています



「教室内のチームワークを大事に居心地のよい教室にします」と松井先生とほか支援員一人

通室している生徒の声

- 私にとってエスタは心温まる場所です。先生たちも優しいし、みんなで仲よく過ごさせています。これからも楽しい学校生活を送ってみたいです。
- エスタは落ち着いて勉強ができるところで、第二の教室だと感じています。みんなで体験活動やレクリエーションもして、とても楽しく過ごさせています。
- 田植えや畑作りをしたのが印象的です。今はスイカなども育てているので、みんなで収穫するのが今からとても楽しみ。今後はまち探検などもしてみたいです。

通室までの3ステップ

①相談

学校の先生等(担任、顧問、さわやか相談員、校長等)に相談

②体験

エスタで3日間程度体験し、今後の生活や学習の内容を確認

③面談

本人と保護者が校長先生・教頭先生と面談し、通室届を提出

対象＝市立中学校に在籍し、原則、学校を30日以上欠席している、もしくは欠席していた生徒



①

みんな大好き わらびりんご

今年もわらびりんごの収穫が行われました。ここでは、その様子や、わらびりんごの生い立ち、果汁を使用した商品を紹介します。



①

ご存じですか わらびりんご

錦町の農家、故・吉澤正一よしざわしげいちさんが約20年がかりで研究・開発した蔵生まれのりんご。桜と入れ替わるように白いかれんな花を咲かせ、6月中旬～下旬に収穫できる日本一の極早生種むすひなまです。直径7センチ前後、重さ150～200グラムで強い酸味が特徴です。



笑顔広がるわらびりんご

日本一早く実がなるわらびりんご。蔵生まれのこのりんごを後世に残し、まちづくりにも生かそうとする普及活動が広がり、今では市内各地で見かけるようになりました。

今年も日ざしを浴びて実を膨らませ、先月、収穫の時期を迎えました。収穫に参加した皆さんは、子どもから大人まで、りんごをもぐ度にすてきな笑顔を見せてくれました。

収穫したりんごは、さまざまな商品に加工されます（詳細左ページ）。まずは今月27日のサマー・パーク・フェスティバルを皮切りにサイダーを販売。その後は順次、シャーベット、ようかんなども販売を開始します。また、新商品としてワインも開発しています。まちの魅力がぎゅっと詰まった商品をぜひ、ご賞味ください。これからも、わらびりんごは地域の宝として、笑顔の輪を広げ続けることでしょう。

問い合わせ 〓 商工観光課
433・7750

情報ダイヤル

掲載は無料で抽選です（前月未掲載の団体優先）。申し込み＝毎月1日～5日の平日に秘書広報課（〓433・7703）へ
※いただいた情報は、ホームページにも掲載します。



● 仲間になりませんか

- ▼ 蔵北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 年中～小学生 月1500～2000円（未就学児は年2000円）（小泉・〓090・4948・5936）
- ▼ 蔵塚越サッカー 土・日曜日・祝日 東小学校か塚越小学校 年長～小学生 月2500円（浦野・〓090・4139・1382）
- ▼ 蔵南サッカー 土曜日 午後1時 日曜日・祝日 午後2時半 南小学校 3歳～小学生 月500～2000円（佐藤・〓080・3000・6553）
- ▼ 蔵ラグビースクール 土曜日 午前9時 東小学校 小学生 月1000円（小林・〓y.kobaryugby@gmail.com）
- ▼ 英書を読む会（中学英語・時事英語の翻訳）土曜日 午前10時 南公民館 中学生以上 無料（桐谷・〓443・0232）
- ▼ 蔵太極拳クラブ 月曜日 午前10時 下蔵公民館 50歳以上の初心者 月2500円（高見沢・〓441・7923）



わらびりんご商品ラインナップ

写真：今年も市内各地でわらびりんごが採れました／①錦町6丁目の農家さんの畑(先月14日)②わらびりんご公園(先月14日)③さつき保育園(先月18日)④塚越小学校(先月19日)⑤南町1丁目の農家さんの畑(先月19日)



サイダー
(1本 250円)
強い酸味が口の中ではじける刺激が特徴。喉を流れる爽快感は夏にピッタリ。



シャーベット
(1個 350円)
リンゴの強い酸味を生かした、爽やかな味は「First Love Flavor」(初恋風味)。



ようかん
(8個入り 650円)
わらびりんごの上品な風味と白あんの良い味が自慢です。お土産やおやつに。

販売時期や場所等の詳細は、右記二次元コードから市ホームページをご確認ください。



- ▼ねこのみみ(おしゃべり交流) 月1回 正午 市内 500円 (岩本・☎090・3431・4295)
- ▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料(山本・☎432・4543)
- ▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後0時半 北町公民館 無料(小林・☎431・3180)
- ▼健康体操クラブ 木曜日 午前10時 下蔵公民館 月2000円(柳元・☎442・8875)
- ▼蔵中央エンゼルス(少年野球) 土・日曜日・祝日 午前8時20分 中央小学校か南小学校 年長〜小学生 月2500円(堀井・☎090・6046・6022)
- ▼蔵スポーツ吹矢クラブ 金曜日 午後0時半 西公民館 月5000円(同館・☎442・4054)
- 参加しませんか
- ▼ジュニアテニススクール 8月3日〜11月30日 全10回 午前7時半 富士見テニスコート小・中学生 先着40人 5000円(田代・☎070・6460・0193)
- ▼蔵断酒会 11日(金) 南公民館 17日(木) 旭町公民館 8月5日(火) 中央公民館 午後7時(大住・☎090・2749・9640)
- ▼子ども菓子教室 8月2日(土) 午前10時半 マルエツいーとぴあ(中央3ー22ー30) 市内在住の小学3年〜6年生 先着8人 500円(同施設・✉infoeatpia@maruetsu.co.jp)

笑顔広がるこどもまつり

5月25日、福祉・児童センターで「子育て支援フェスタ・こどもまつり」が開催されました。エアカーリングや棒積み上げなどのオリジナルゲームコーナーのほか、スライム作りや乳幼児のお散歩コーナーなどが設けられ、会場は大盛況。訪れた1,926人は、笑顔いっぱいに楽しんでいました。



まちの話題

ここでは5月下旬から6月中旬までの話題を紹介します
 カメラマークがついている話題はCATVで放映します



市民参加の美化清掃活動

自分たちの住む地域をきれいにしようと、先月1日、「さわやか環境の日・クリーンわらび市民運動」が市内全37町会で実施されました。清掃に参加した3,039人の皆さんが、道路や公園の空き缶を拾ったり、雑草を刈ったりして集めたごみは合計5,650個。早朝からのご協力、ありがとうございました。

モリंगाを育ててみよう

地球温暖化対策に有効といわれている植物「モリंगा」の魅力や、地球環境について広く知ってもらおうと、先月8日、中央公民館でSDGs推進事業「モリंगाを育てる講座」が開催されました。参加者45人は、埼玉大学大学院の藤野毅教授の話聞き、環境問題を考えるきっかけとしていました。



「ハローわらび」7月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	6/27(金)~7/3(木)	4(金)~10(木)	11(金)~17(木)	18(金)~24(木)	25(金)~31(木)
00	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウン いきいき百歳体操	市政ガイド わらび市政ほっとNews	市政ガイド お気をつけください バッテリーの捨て方	市政ガイド わらび市政ほっとNews
05	タウンタウン モリंगाを育てる講座	知っていますか 口の中にできるがん	タウンタウンワイド わらびりんごの収穫	タウンタウンワイド 南町児童館の じゃがいも掘り	タウンタウン 塚越児童館の七夕会
10	蕨市政なう!	安全安心なまちづくり	子ども作曲ワーク2025	あさがお&ほおずき市	蕨市政なう!
15	更に便利で受けやすく がん検診のお知らせ	進めていますか 水害への備え	コケ玉作り講習会	一中のワーキングウィーク	市民の暮らしを守り 蕨の更なる飛躍へ 市長 Manifesto
20	探れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん	市政ガイド 熱中症にご注意ください	美術探訪 河鍋暁斎記念美術館	特集・ウィークリープラス みんなで踊ろう わらび音頭	探れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD / 放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所=秘書広報課 (☎433・7703)



ICT教育環境の充実と 健やかメディアの推進

市長 頼高 英雄

社会のデジタル化が進む中、
蕨市では、令和2年度に児童
生徒1人1台のタブレット配
備や学校のWiFi環境整
備を行うなどICT教育に力
を入れ、公立学校情報化ラ
ンキング（日経BP社発表）で
は小・中学校とも、全国トッ
プ10に入っています。今年度
は、更に、全タブレットの一
斉更新や、3Dプリンターな
ど先進機器を備えたDXルー
ムの全中学校への整備が完了

します。また、英語教育では、
ICT環境を活用して英語4
技能テスト・GTECジーテックを導入
し、昨年度、中学3年生の
「英検3級相当以上」の割合が
64・3%と、全国平均の52・
4%を大きく上回っています。

同時に、デジタルを使うの
は人間であり、子ども達の健
やかな成長には、自分で考え
る力やデジタルを適切に使え
るメディアリテラシーの育成
に加え、実体験の機会を増や
していくことも大切であり、
自然体験ツアーの開催や小学
生将棋大会など、健やかメデ
ィアの取組みも進めています。
これからも、蕨の子ども達
の可能性を最大限伸ばせる教
育環境の整備に向けて、全力
を挙げてまいります。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木
曜日。今月は3日です。
8月は7日です。時間
は午後1時～5時を予
定しています。
ご希望のかたは秘書
広報課（☎433・7701）
へご連絡を。



講座で口腔のがんを学ぶ

先月8日、くるるで蕨戸田歯科医師会の
市民公開講座「知っていますか 口の中に
できるがん」が開催されました。講師は東
京歯科大学学長で歯学博士かたくらあさひの片倉朗さん。
参加した114人は、具体的な症例なども交え
た話に、口腔の健康維持のための検診のた
いせつさを改めて学ぶことができました。



コケ玉作りで 楽しく交流

先月17日、趣味の講座を通して高齢者同
士の交流を深め、いつまでもいきいきと暮
らしてもらおうと、「コケ玉作り教室」が松
原会館で開催。参加した14人は、和気あい
あいとした雰囲気の中、おしゃれで見た
目にも涼しいコケ玉作りを楽しみました。



わが家のアイドル

-639-

じん 仁ちゃん（1歳11か月）

あだち 祐介さん
ふみか 文香さんの次男
北町2丁目

「最近、できることが増え
てきた仁は、何でも自分で
やろうと挑戦中。スプーン
で上手にごはんを食べたり、
洗面台に踏み台を運んで手
を洗ったりと、日々の成長
に驚きの連続です。このあ
いだは、私の疲れた様子に
気づくとトントンと背中を
なでて励ましてくれて、う
れしくなりました。何事に
も挑戦する気持ちを忘れず、
思いやりのある優しい子で
いてね」と、母親の文香さん。

わが家のアイドル募集中！ 詳細は秘書広報課（☎433・7703）

県展彫刻部門 高校生奨励賞受賞

輝いています

ひと

新城 美月 さん



「今のベストが評価されてうれしいです」と新城さん

少女が見上げる先へ

今にも動き出しそうな生命感のある少女の彫刻の隣ではにかむのは新城美月さん(17歳・塚越5丁目)。埼玉県美術展覧会の彫刻部門で高校生奨励賞を受賞しました。絵を描くことが好きで、小学生から絵画教室に通い、交通安全ポスター展等で入賞してきました。本格的に美術を学ぶため、大宮光陵高校の美術科へ進学。授業で制作した立体作品の構図や空間の使い方を褒められたことをきっかけに、彫刻を専攻することに。基礎を学びつつ、写実的な作品を目指して技術を磨きます。県展に向けて、新城さんはフィギュアスケーターのような滑らかな曲線のある作品

を作ろうと、試行錯誤を重ねていました。ところが、締め切りまでひと月を切ったある日、作品の体勢に土台が耐えられず、作品が崩落。当初よりも動きを抑えた姿勢で作り直すことに。焦りと自身の技術不足に対する悔しさを感じながらも、出品期限ギリギリまで人体の動きを忠実に描写することに情熱を注いだ結果、今の自分のベストが出せたと言いつける作品となりました。空を見上げる少女の彫刻。目の周りにはあえて形作らず、まるで強い光が当たって細部が見えなくなっているかのよう表現。目指す作品に必要な高度な技術や、それができる人たちのまぶしさに目がくらんでいる自分を重ねました。しかし、それでも前に突き進むんだ、という野心が前のめりな体勢にこもっています。県展の審査員からは「人体の動きを感じられ、真摯な制作姿勢が伝わってくる」と評され、今回の受賞となりました。「毎回、前回よりもはるかによい作品を作ろうと頑張っています」と語る新城さん。その情熱を胸に、まっすぐに明るい未来への歩みを進めます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蕨にあり

—No.110—



本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

暁斎筆「蛙と兎の駕籠道中」 紙本墨摺に手彩色 団扇絵校合摺

この作品は、団扇絵版画の試し摺りにあたる校合摺に、暁斎が手で彩色したもので、高山寺所蔵の「鳥獣戯画」にも描かれている蛙と兎がモチーフになっています。本図の蛙と兎は、柿の実をくりぬいた駕籠を担いでいます。駕籠に乗っている客も蛙ですが、駕籠の脇に蒲の穂の毛槍を持った御供を連れているので、どう

やら身分が高い蛙のようです。前で担いでいる蛙は余りの重さに頸を上げていますが、客の蛙はそんなことはお構いなしにどっしり座り、ずいぶん太々しい様子です。



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい 河鍋 暁斎 天保2年(1831) ~明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 企画展「暁斎・暁翠 いきもの大集合」展 開催中 同時開催 特別展「第39回かえる」展

開館=午前10時~午後4時
ところ=南町4-36-4
休館=火・木曜日、26日~末日
入館料=一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください。
詳細=同館 ☎441・9780



展覧会の詳しい内容は美術館のホームページを御覧ください

